

検証②

■目的

APをビルの高いところに設置した場合の通信距離を確認

■場所

NECビル屋内(親機) 屋外(子機)

■検証装置

親機:uM350R

子機:Silex BR-100AH



■測定方法

ビルのフロア20FにuM350Rを設置し、離れた子機と疎通確認を行った。

■結果

直下約80m、横方向に約550mで疎通できることを確認した。

■考察と今後の活用について

IEEE802.11ahの特性である通信距離が長いことを確認することができたが、アンテナ同士が目視で見えないロケーションでは速度は出なかった。

よって、円状中心点半径550m内の見通しがいい場所では工場施設やインフラ設備、河川・ダムにおいて、映像やデータの通信収集に活用できる可能性がある。